

静毛の だより



- 総会・研修報告
- おやこんぼ(後編)
- 認定こども園訪問
- 教育研究大会
- 特集『親子で楽しむふれあい体操のススメ』(その2)/前橋 明
- 絵本を見る目/鈴木出版
- 街ぶらり/静岡市・日本平周辺のレポート
- 健康随想(第4回) 歯並びの話/齋藤滋子



NO.167
2013③
SPRING

第60回定時総会が平成25年2月22日（金）、ホテルセンチュリー静岡で約130名の会員が出席して開催されました。

相田理事長の挨拶に続いて、「静岡県私学振興議員連盟」会長でもある来賓の鈴木洋祐県議会議員から、来年度県予算の増額など、力強い私立幼稚園へのご支援の祝辞を頂きました。その後、総会は上程された平成24年度収支補正予算案、一般社団法人静岡県私立幼稚園振興協会の平成25年度事業計画案、「貸付金管理及び回収規程」と「協会預け金返還規程」がそれぞれ原案どおり満場一致で可決され、閉会となりました。

第60回(社)静岡県私立幼稚園振興協会定時総会
平成24年度 理事長・設置者、園長等研修



にとつてもまことに大きな意味があったと感じます。

しかしながら、課題は依然として山積しています。少子化の加速に保育所志向の増加が加わり、ほとんどの私立幼稚園が慢性的な入園希望者の減少に悩む現在、従来のシステムに新しい制度のもとでの認定こども園が加わる新体系が、果たして私立幼稚園にとつて理想の環境となり得るかどうかの確かな判断がそれぞれの設置者に求められるようになるのです。国が平成27年度からの施行を予定している新しい枠組みづくりによる不安なく参加するために、今後行われるであろう乳幼児保育・教育の在り方、方向性を検討する「国民的な会議」や「財源の確保」、「国や県、市町村の権限、役割の決定」などについてタイムリーかつ的確な情報の取得やケーススタディが必要になってきます。



来賓

平成22年秋に「すべての幼稚園、保育所を廃止して総合こども園を創設する」とした政府の子ども・子育て新システムに基づく「総合こども園法」は昨年の夏に廃案となりました。一貫して子どもの権利を守るための提言を行い、社会に向けて意見発信を続けてきた我々私立幼稚園関係者の思いがやっと実った形となり、幼稚園も従来の制度のもとで存続できるようになったことは、日本の幼児教育

平成25年度（一社）静岡県私立幼稚園振興協会事業計画書

継続と変化の両方が求められる平成25年度。さまざまな情報を得ながらも決してそれらに振り回されることなくしっかりと咀嚼し、各委員会、プロジェクト活動の活発な意見交換や事業を展開することによって「会員園の幼稚園力向上」に寄与すべく、以下の基本方針および事業計画を策定します。

平成25年度振興協会事業の基本方針

一般社団法人に移行しても公益的事業と共益的事業の両立が必要になります。

まず公益的事業では、その中でも一番重要な位置を占めるのは何と言っても『教員養成研修・研究事業』です。私立幼稚園の屋台骨である「教育」と「人」の魅力をアップさせることは教育運営のみならず、経営的にも大きな影響を与える重要な課題となっています。より良い教育環境を構築するために欠くことのできない人材育成、教員の資質向上のための体制づくりに配慮し、有益な研修・研究事業を展開することができるよう、その環境構築に全力を傾注していきたいと考えます。

また、今後、地域とりわけ市町との関わりがより深まっていくことが予想される中、各地域において私立幼稚園の地位を確実かつ存在感あるものとするために『地域子育て支援事業』に寄せる期待も並々ならぬものがあります。全日本私立幼稚園連合会が推進する『こどもの豊かな環境キャンペーン』こどもがまんなかプロジェクト』は全国的にもようやく注目度が上がり始めています。その一環として本県において事業展開を試みている『おやこんぼ』については、24年度県内一斉推進を目指していたものの十分にその思いが浸透

しなかった反省を踏まえて、25年度は推進プロジェクトを発足させてその動きを加速させていきたいと考えます。

共益的事業では健全経営のためのマネジメント研修や危機管理への備えとともに、質の高い人材の確保に向けた活動を充実していくことが急務となっています。また、新システムへの導入に当たって益々高まるであろう市町との関係を強固なものとする活動や会員、社会に向けての的確かつ有用な情報の提供など、引き続き取り組むべき課題が未だ多く残されています。

これらの課題解決、目標達成に向けて、以下のように25年度事業の要点を掲げ、各委員会活動を中心に事業推進を図ってまいりたいと考えます。

「各事業の要点」

1 教員養成研修・研究事業

- ①会員のスキルアップに寄与する各研修の整理・精選を一層進めるとともに、会員研修履歴の蓄積を確実に行う。
- ②幼児教育の質の向上に寄与する研究を進めるとともに、研究成果を外部に発信する。
- ③免許更新制について体制整備を継続して行うとともに、大学機関との調整を図る。
- ④発達や学びの連続性を踏まえた小学校や保育所との連携を強化する研修・研究を進める。
- ⑤一部の研修、講座について、一般への開放を進める。（研修委員会）
- ⑥幼稚園からの情報発信のスキルアップを図る。（IT小委員会）

2 地域子育て支援事業

- ①子どもが健やかに育つ権利を地域社会に根付かせるため、子育てフェア、子育て支援力ウンセラー等の子育て支援事業を継続実施す

る。

②『こどもの豊かな環境キャンペーン』こともがまんなかプロジェクト』を展開するため、「おやこぼ推進プロジェクト」を立ち上げ、事業の一層の理解、普及に努める。(地域向上委員会)

③地域子育て環境の良質化に寄与する活動の推進を図る。(企画委員会)

3 健全経営推進事業

①園の健全経営への基盤づくりのために、経営情報の提供等の事業を実施する。

②トップマネジメントを担う理事長・設置者への経営・教育研修を実施する。(経営委員会)

③各園で質の高い教員を確保するため、教員養成校との情報交換会、同校での説明会への参加、子育てフェア等での各園の説明会(ガイダンス)の実施を推進する。(広報委員会)

④園内の危機管理の啓発と地域防災防犯組織との連携を充実し、危機管理体制の構築を図るとともに、災害対策に向けての準備を更に推進する。(地震及び安全管理小委員会)

⑤良質な教育環境の確保と安定経営支援のため、会員に対しての利子補給制度を行う。(事務局)

4 企画調整事業

①県、市町等の動向調査を行うとともに、27年度に移行開始予定の新システムに対して、調査、研究を行う。

②幼稚園や振興協会の在り方に関する協議や提案を行う活動を推進する。(企画委員会)

③主に静私幼だよりを通じて、幼児教育の意義を広く保護者や地域の人々に広報する。(広報委員会)

④ホームページのリニューアルを踏まえ、各

園、地区、協会からの情報発信の活発化を目指す。(H P 小委員会)

⑤地区内及び地区間の連携を図り、組織力の強化により県内私立幼稚園の振興を図る(地域向上委員会)

⑥新法人移行後の調整等を行い、円滑な移行を支援する。(公益法人制度改革特別委員会)

⑦本部組織の試案に基づいてシミュレーションを行い、災害発生時に向けての備えを強化する。(災害対策本部)

⑧教員の資質向上に向け、国内外の先進的な幼児教育事例を持つ施設等における研修の企画・調査を行う。(企画委員会・事務局)

●理事長・設置者、園長等研修会

定時総会に引き続き、午後は「理事長・設置者、園長等研修会」が開催されました。

第一部は静岡県私学振興課幼稚園班の佐野正幸班長が「静岡県の私学振興と新年度予算」という演題で講義をしてくださいました。

佐野班長は、先ず私立幼稚園の園児数の減少(10年間で約13.9%減)と保育所児童(3歳〜5歳児)の増加(同約9%増)という中で201園(約84%)が定員割



れしているという私立幼稚園を取り巻く厳しい環境の説明から入りました。さらに、私立幼稚園の教育条件の維持及び向上等、私学振興に関する基本的な考え方に基つき、経常費補助金は園児一人当たり18万3542円(100円増)を確保したこと、また、退職基金への助成では前年度より526万円のプラスで1億4917万円となったことなどを説明されました。

第二部では全日本私立幼稚園連合会香川敬(けい)会長が「子ども・子育て3法への対応と今後の動向、家庭生活/幼稚園教育の見直し」という演題で講義をされました。

同法は欠陥があまりにも多く、人間形成の基礎を培う時期に子どもをどのような形で育てていくかという基本理念からも疑問があることから今後政府等と交渉、修正の余地があり、今後の幼稚園のあり方を考えて、幼児教育の無償化などの進捗状況を見ながら、同法の問題点と課題を提言していくとの全日私幼連の考え、ご自身の決意とともに幼稚園教育への熱い思いを述べられました。

ヨーロッパの家庭ではテレビを見ながら食事する家庭はほとんどないことや、日本の家庭の例をあげられながら、家庭を引つ張るのは幼稚園であること、幼稚園は心のドラマの生まれるところで文化の発信基地であること、の気概を持つての園運営が必要であること、子どもが字を早く覚えることが良いことであるかなどに関し子どもは大好きな友だちと目

一杯遊ぶこと(原体験)が必要であることや、いじめに関し幼児教育に携わる者は自負と反省

が必要であること、外国では幼児教育は国家戦略として位置付けられていること、頂き物をした場合は感謝の気持ちを持ちお礼を丁寧にする必要があること、絵本の大切さ、教員研修は私立幼稚園の鑑(鏡)であること、東日本大震災被災者への全日私幼連からの義援金贈呈の際の佐藤福島県知事の感謝の言葉、子ども達の心と体のために大人が気をつけてあげたい「睡眠時間は十分足りていますか」などの7つの項目などを教えて頂きました。

最後に、瀧村有子作、鈴木永子絵の絵本「ちよっとだけ」の朗読が行われて、香川会長の講演は終了いたしました。

●委員会報告等

広報委員会からは協会ホームページへの協賛企業の広告掲載など、研修委員会からは25年度の研修計画、経営委員会からは次世代リーダー養成研修会の報告などが、「遊びの充実研究プロジェクト」「幼小連携研究プロジェクト」からもそれぞれ報告があり、研修会は終了しました。





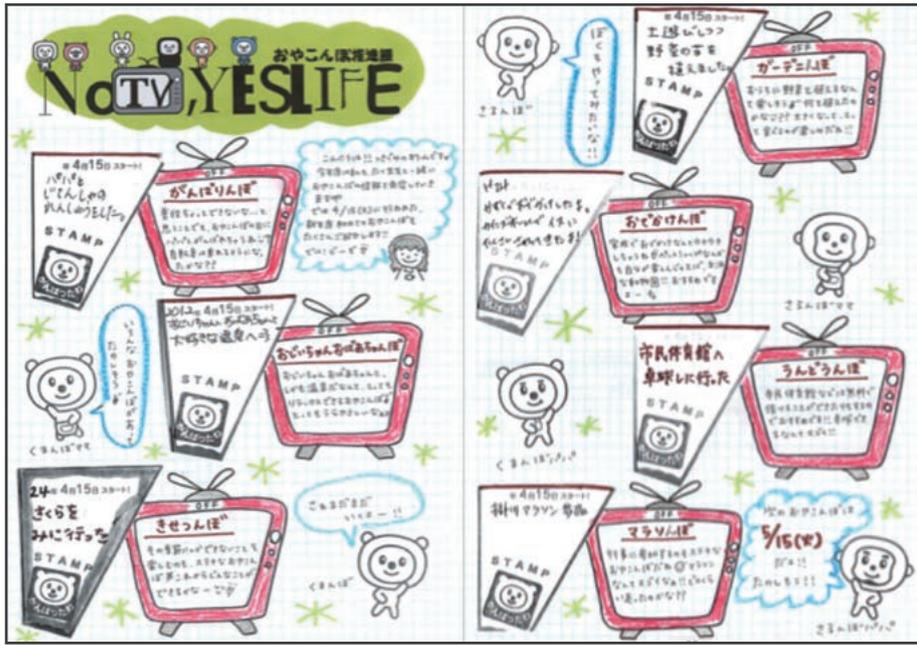
おやこんぼ 後編



おやこんぼの『できたかなカード』のもうひとつのねらいは、毎月カードを見ることによって、園職員が親子での時間過ごし方のバリエーションを蓄え、「何をやらなければならないか」と悩んでいる親に「こんなふうですか?」と直接話したり、お便りでフィードバックできるようにです。(参考1)

■参考になるかわかりませんが、私の園では「おやこんぼやりたいたいなカード」を作って前日に子ども達にやりたいことを考えてもらい、家に帰って家族と相談するカードを作りました。(毎月ではなくときどきやってみようと考えています)

おやこんぼできたかなカード



(参考1) ※園便りの「おやこんぼのページ」原稿です。できたかなカードを「コピーして」コメントを添えてご紹介。担当の先生が毎月制作しています。



- ①年長クラスでカードに描いています。「ねえ、どんなことする?」「②「かけたよ!」



- ③みんなの前で発表! 「私はあした〇〇をしたいです!」
- ④お家の人と話し合った結果を教えてください! 「サッカーの靴を買いにおにいちゃん、」 「サッカーの靴を買いにおとうさんは、」 「トランプがカードゲームはどう?」 「おかあさんは、」 「おてつだいをたくさんしてほしい」

家族でこの話

し合いをしていることが、すでにおやこんぼの一環ですね。

おやこんぼやりたいたいなカードの原稿



おやこんぼプロジェクトは、基本のミッション(フーテレビ)さえ押さえれば、あとは盛り上げグッズを使ったり、手作りしたりして各園でいろいろな形でのバリエーションを工夫していくことが可能です。実際、沼津市内でも各園でいろいろな取り組みがされています。

ぜひ、皆さんの園でもオリジナリティ溢れるおやこんぼを実践してください。そして、こんどは各園のすばらしい実践を静岡県内の園に、そして全国の園にフィードバックしていき、「おやこんぼ家族」がいっぱい生まれると良いなあ、と願っています。

原町幼稚園 園長 鶴谷主一 (沼津市私立幼稚園協会広報&おやこんぼプロジェクト委員長)

※静幼小幼より第166号のおやこんぼ前編記事、おやこんぼ実施率(沼津私立幼稚園2カ園)とありますが、正しくは「23園」ですので、訂正してお詫言します。

認定こども園訪問

平成25年1月21日(月)、平成23年4月に開園した、藤枝市小石川町の、青島こども園(幼稚園部・保育園部)を訪問し、お忙しい中、学校法人大雄学園伊藤正見理事長からお話をうかがいました。



★認定こども園、保育園について、いつ頃から開園の準備活動をされましたか。

藤枝市内には公立幼稚園はなく私立幼稚園(21園)のみであることから、市の担当課との情報交換は緊密でした。こうした中、藤枝市から当法人に開設の打診があり、理事会でこども園開設の決定をしてから、開園まで2年間の準備が必要でした。

特に開園の前年度は、寄付行為の変更、学内貸借などで理事会を10回開催してい

ますし、保育所の認可やこども園の認定申請をするなど、事務手続も多く大変でした。

★保育園建設のために必要な土地の手当てや資金面はどうですか。

既存の園舎とは別に、2階建の建物を幼稚園の敷地内に建てました。1階部分が保育園で、2階部分は子育てセンターと預り保育に使用する幼稚園です。

幼稚園のグラウンドが少し狭くなりましたが、「幼保連携型」は幼児の安全が確保されれば同一敷地外でも認可されますので、近所の広い土地も借りて第2グラウンドとしています。

工事額は1億8千万円余で、うち自己資金は約3千万円弱、国の補助金が1億3千万円余、残り2千万円は市からの借入金です。

★幼保連携型こども園と聞きましたが、どのような特徴がありますか。

「幼保連携型」は認可保育所として0歳から5歳まで開設できますが、当学園では保護者の方から「3歳からは幼稚園教育を受けさせたい」という声が圧倒的に多く、これを受け、保育園(定員30名)には0歳児から2歳児までが在園し、3歳児からは幼稚園(定員285名)に全員通う点にあります。

★保育園の在園児や職員の採用はどうだったのですか。

保育園では、現在、0歳児9名、1歳児12名、2歳児16名が在園しています。

当法人で市立保育園民営化により別地に認可保育所(定員140名)として経営を受託しており、受託の際、従前市に雇われていた臨時職員の方を法人で雇用していましたので、開園した保育園の職員11名は受託園に勤務していた職員からの人事異動(経験者)と新規の採用でまかなくなりました。

また、保育園は朝7時から夜7時までですので、職員の勤務ローテーションが必要となり、配慮も必要ですが、大体1年で学べました。

★学校法人で幼保両方を経営しているわけですが、学校法人の会計面ではどうですか。

勘定科目においても幼稚園と保育園は違いますので、保育園は社会福祉法人会計で経理し、これを会計士の指導を経て学校法人会計に転換するソフトで処理しています。

※同園は藤枝駅の近くで、東海道本線の北側にあります。伊藤理事長から「幼稚園も時代の変化に対応できないと世間の目は厳しいよ。」とお言葉も頂きました。



東部

第26回静岡県私立幼稚園東部地区教育研究大会が、平成25年1月25日に裾野市民文化センターで行われました。

開会式では大橋俊二裾野市長より「幼児教育を担う私立幼稚園の活躍に期待しています。」と祝辞をいただきました。



最初の研究発表は、沼津地区ルンビニ幼稚園の「縦割り保育で育つものゝ思いやりの心を培う保育をめざして」という研究テーマに沿って、縦割り保育を通して、子ども達同士の関わり方がより積極的に親密になっていく様子などが発表されました。2番目には、富士地区するが幼稚園の「楽器とのふれあいと子どもの発達〜鍵盤ハーモニカ指導からの学び〜」という研究テーマに基づいて、合奏を通して最後まで頑張る取り組みや友達と協力して一

つの事をやり遂げる力、またその喜びをより多くの子ども達が体験していくという発達の過程が発表されました。最後に、富士宮地区万野幼稚園の「豊かな心を持ち生き生きと遊ぶ子どもを育てる保育〜年間保育計画の充実と見直しを通して〜」という研究テーマによる発表がありました。これまでの年間の保育計画に基づき、子ども達の興味や関心から環境設定や援助のタイミングを工夫しながら、保育研究を続けてきたとのこと。「今後も子どもが育ち保育者が育つ、より密度の高い保育を目指していきたいです」との報告がありました。

その後行われたのは、「大石垂矢子コンサート〜アイメイト、セロシアと共に〜」と題する音楽会でした。アイメイト(盲導犬)のセロシアと一緒に登場した大石さんのすばらしい歌声とピアノ演奏に、参加者は大きな拍手を送っていました。アイメイト・グレースで始まったコンサートは、アヴェマリア、日本の歌ご自身の作詞作曲による歌などで、歌詞に込められた思いに皆感動した様子でした。曲と曲の間のお話の中で、これまでの人生の中でつらかった頃の思い出に触れ、それを乗り越えて現在があることの幸せを語っていらっしやいました。

閉会式では、次期開催となる沼津地区

区地区長の武田義正先生が挨拶され、今大会は閉会いたしました。



西部

第26回静岡県私立幼稚園西部地区教育研究大会が、平成25年2月13日(水)に浜松市教育文化会館はまホールで行われました。

午後1時20分より、松下知弘浜松地区地区長の開会の辞に引き続きまして、参加者全員が幼稚園賛歌を唱和し、遠州地区から1園、浜松地区から2園の研究発表が行われました。



◆遠州地区 掛川子ども園幼稚園部 「食育」について

給食後の残飯が多いことから悩んだことなどの事例を挙げながら、園児がよく遊び、よく食べれば、睡眠を取りやすくなります。そのためには、給食の先生、職員同士、保護者との連携や職員の研修、食育計画、年間指導計画が大切であるとの発表がありました。



3園ともパソコンでアニメーション効果を利用したスライド形式で報告し、

春日幼稚園 「絵本と絵本の世界をもっと楽しむために」

4冊の絵本の中から自分が見たい本を選び、絵本について学び直したことを発表しました。子ども達が自分から絵本に触れる姿や、「この本読んで」という声が少しずつ見られている成果や絵本の楽しさを伝える意欲などが報告されました。

クラスの子ども一人ひとりの個人観察記録の開始から始まりました。発達レベルへの理解を深め、実践のまとめとカンファレンスへの流れ、実践報告書の作成、公開保育の立案、研究紀要のまとめへの実践と過程などが発表されました。

◆浜松地区

浜松学院大学付属幼稚園

「子どもの姿から発達や心の動きをとらえ 日々の充実した保育につなげよう」

参加者がわかりやすいよう工夫し、それぞれの研修の様子を熱心に伝えていました。

森俊彦副理事長からの研究発表への講評と発表者へのはげましの言葉がありました。続いてソプラノ歌手の土屋朱帆先生による「唱歌と童謡コンサート」をテーマとした記念講演が行われました。

唱歌と童謡の違いや子どもがうたのルーツなど歴史をたどりながら、クイズ形式でお話しをしてくれました。ピアノ形式でお話しをしてくれました。ピアノ形式でお話しをしてくれました。ピアノ形式でお話しをしてくれました。

午後4時10分、白井祐子遠州地区地区長による閉会の辞で大会は閉じられました。



親子で楽しむ ふれあい体操の ススメ

3. 親子体操の内容とポスター作戦

親子体操を大切にすれば、小さい頃から人とふれ合うことの楽しさがもともと身につくのですが、残念なことに行事だけで終わっていることが非常に多いのです。参観日のときだけですからでは、生活化していきません。小さい頃から親子体操や親子のふれあいあそびの体験をしつかりもたせることで、「人とふれ合うこと」がテレビやビデオより「楽しい、おもしろい」ということを経験させてもらいたいのです。感動体験として、心に残ると、大成功です。

そうしないと、子どもたちの自由時間は、いつもテレビやビデオの魅力に負けて、対物的な活動になってしまいます。いったん人と関わる魅力を感じた感動体験をもつと、テレビやビデオ



を見ていても、友だちが「いっしょに遊ぼう」と誘ってきたら、人と関わるあそびのおもしろさを知っているのです。すぐに友だちとのあそびに出ていきますよ。しかし、今は、どうしても負けているのです。

私は、今、親子体操の冷蔵庫作戦を全国展開しています。冷蔵庫作戦とは、A4判くらいの紙に親子体操のイラストを描き、ポスター(資料)を作つて、それを冷蔵庫に貼ってもらうのです。冷蔵庫というのは、子どもが必ず開けます。お母さんも開けます。お父さんも、「ビールはないか?」と言いなから開けます。子どもが冷蔵庫に貼つてある親子体操のポスターを見て、「お母さん、これを、いっしょにしようよ!」という訳です。すぐにできるような親子体操のメニューが描いてありますから、すぐに実践しやすいです。



早稲田大学 教授 / 医学博士

前橋 明

倉敷市立短期大学教授、米国ミズーリー大学客員研究員、米国バーモント大学客員教授を経て、現在、早稲田大学人間科学学術院教授。

【社会的活動】

インターナショナルすこやかキッズ支援ネットワーク代表、日本幼児体育学会会長、日本食育学術会議会頭、日本幼少児健康教育学会副会長、日本レジャーレクリエーション学会理事

【受賞】

1992年 米国ミズーリー州カンサスシティ名誉市民賞受賞
1998年 日本保育学会研究奨励賞受賞
2002年 日本幼少児健康教育学会功労賞受賞
2008年 日本幼少児健康教育学会優秀論文賞受賞
2008年 日本保育園保健学会保育保健賞受賞

作戦を立てて、「イヤー、これはお母さんにはできないよ。僕は大きくなって重くなったから、お父さんが帰ってきたら、してもらおうね。」と言いなから、お父さんをうまく巻き込んでいきます。お父さんにもしてもらおうのも、良いアイデアです。お父さんの力強さや安心感を得ることができるとしよう。

もう一つは、トイレ作戦というのがあります。便座の前の壁に貼っておくのです。お父さんが便座にすわつて前を見ると「おっ、こんなあそび、俺も小さいときにしてもらったなあ。でも、自分は全然してやっていないなあ。」等と思いなから見てもらい、参考にしてもらいます。一つでも、子どもにしてみようかと思ってもらえれば、しめたものです。

親子ふれあい体操

食べて、動いて、よく寝よう!

早稲田大学人間科学学術院 教授/医学博士 前橋 明
〒359-1192 所沢市三ツ島2-579-15 TEL&FAX 04-2947-6902

体操で育つもの

巧緻性や平衡性、敏捷性などの調整力、筋力、空間認知能力、回転感覚や遠さ感覚、支持感覚の向上、親(保護者)と子のコミュニケーションづくりと情緒の開放、聴覚体験

体操の中で行うときは、窓を開けて風通しをよくして行いましょう。体操が終わったら、手洗いやうがいをして、汗をしっかりとふくようにしましょう。では、親子ふれあい体操を紹介してあります。



⑥逆のロボット

子どもは、逆の足になり、親の足の甲の上へ、手を乗せさせます。親は、子どもの両足首を持ち、少し引き上げて歩きます。



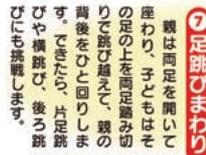
⑤手押し車

子どもを前に、腕筋や背筋、腕力を使うツイストリミックな運動です。前進はゆっくり、後退は速くします。前進はゆっくり、後退は速くします。



④ロボット歩き

親の足の甲に、子どもが乗り、親子で手を握ってゆっくりと歩きます。前方や横方向に大きく歩みます。親が大まかに動かし、子どもは小さく、両足を動かして、また歩きます。



⑦足跳びまわり

親は両足を開いてまわり、子どもはその足の上を両足踏み回して跳び越えて、親の背後まで戻ります。その後、片足跳びや横跳び、後ろ跳びにも挑戦します。



⑧高い高い

子どもの大好きなあそび。喜び、感動、また、やりたいという気持ちを引き出せます。

かかんばい子
ががさしい子
やくさぶうする子
未来へ



⑨スーパーマン

親は、子どもの胸を両手で支え、子どもを両手で持ち上げます。移動しながら、子どもを上へ下へ動かして歩きます。



⑩メリーゴーランド

子どもを両手で握り、両足の中を両手で支え、親が子どもの足をしっかりと握り、クルクル回ります。上下させたり、回す方向を変えてみます。



⑪ショジョカン

①向かい合って手を握らせ、両足を握り合せて歩きます。②同時に足を握ってショジョカンをします。



②親が勝つなら、手を握り、子どもを握り合せて歩きます。子どもが勝つなら、大人の足を握り合せて歩きます。



⑫おしりたたき

親は子どもと手を握り、お互いに一方の手で相手のお尻をたたきます。自分のお尻をたたかれないように逃げましょう。一本のタオルの両端を持って行って行って見ましょう。ゆとりがよいです。



⑬飛行機

子どもは親の足をのびに広げて、前方に倒れます。親はツイストリミックを合せて、子どもを持ち上げます。倒れないときは、その両手を握って歩きます。



⑭跳び越え

子どもは、座っている親の足の上を跳び越えた後、今度は反対側(体の反対側)の下をへり抜け歩きます。



⑯両足押し

親は両足をそろえて、子どもは、親の両足の下をへり抜け歩きます。



⑰丸太おし

「力試し」をしてみよう。親は仰向けに寝て足を垂直に立て、両手は床面に置いて足が倒れないように支えます。子どもは、その大木(親の両足)を倒すように歩きます。

体操はいいことがたくさん!

- お金をかけず、体力づくりができる (体力向上)
- 道具も必要なく、体だけをつかって運動ができる
- 子どもが親をひとり占めできる (心の豊かさを育てる)
- 親が子どもの成長を確認できる
- ふれ合うことで親子のコミュニケーションが良くなり、自立心、言葉の発達につながる (社会性づくり)
- 遊び方を工夫することで、知的能力の成長にもつながる (学力向上)

夜の運動はNG
夜間は体温が下がると、子どもは運動が苦手になり、かえって寝れなくなってしまう。また、夜間は集中力が低下し、運動が苦手になり、かえって寝れなくなってしまう。また、夜間は集中力が低下し、運動が苦手になり、かえって寝れなくなってしまう。

早稲田大学人間科学学術院 前橋 明 研究室
(04-2947-6902)
所沢市子ども支援課 (04-2998-9124)
所沢市保育課 (04-2998-9126)

【図】早稲田大学人間科学学術院 前橋 明 研究室 提供



幼稚園教諭になって

昭和幼稚園 川邊 葵

ずっと憧れていた幼稚園教諭になり、年少の副担任になってからもうすぐ1年が経とうとしています。4月当初は、全てのこと初めてでどうしたら良いか分からず戸惑ってばかりでした。子ども達に「おはよう！」と挨拶をすることさえ緊張していました。

やがて、保育を始め、園外保育や運動会、作品展など様々な行事も経験しました。前日にペアの先生と打ち合わせはするものの、いざ行ってみると、不安や焦りで空回りして失敗してしまい、迷惑を掛けてしまうことも多々ありました。思っていた以上に大変で、自分はやっていけないのか、と何度も思っていました。

そんな私を元気づけてくれたのは、子ども達が作ってくる「紹介」でした。私の園では、子ども達が家庭で作った物を「発表」する時間を設けています。毎日、子ども達は折り紙や絵など様々なものを持って来ます。そして、発表し終わるとそれを友達や教師にプレゼントしています。1学期からずっと行っています。今まで本当にたくさんの「紹介」を子ども達から貰いました。「先生、あげる！」とそれを受け取り「上手



に作ったね！ありがとう」と伝えると、どの子どもとても嬉しそうな笑顔を見せます。子ども達からのプレゼントは本当に私を励ましてくれます。

また、ペアの先生を始め、先輩の先生方も、丁寧なご指導をしてくださったり、辛い時や困った時などに話を聞いてくださいました。今もまだまだ未熟者ですが、活動や、園での生活リズムにも慣れてきて、子ども達と笑顔で接することができるようになりました。1日の中で、幼稚園教諭になって良かったと思える時間も増えました。

3学期には、大きな行事である音楽会が待っています。もちろん音楽会も初めてなのでとても不安ですが、成功するように私も全力で頑張りたいと思います。4月から今まで、本当にたくさんのことを学んで来ました。経験や失敗、学び取った知識などをひとつも無駄にすることなく、今後に生かせるよう頑張っていきたいと思っています。また、子ども達と毎日笑ったり喜んだり、様々なことを一緒に感じたいように心掛けていきます。

社会人3年目の私

認定こども園 あゆのさと 影山 槇子

社会人3年目の冬。かしわくぼ保育園で2年、平成24年4月新しくなった認定こども園あゆのさとでの1年目がもう3学期を迎えました。保育園を希望して入った私ですが、認定こども園になるということで、幼稚園の「教育」という部分に対しては実習以来で試行錯誤の毎日でした。まして今年初めての幼児一人担任でわからないことだらけでした。



去年の冬、園長先生より来年度のクラス担任が発表され、私は3歳児クラス3組の担任となりました。初めての自分のクラス。新しく入ってくる子や、進級する子は誰が私のクラスに入るんだろう？とわくわくドキドキときどき！早く子ども達の顔を見たいなと期待に胸を膨らませていました。その反面、「3歳児は最初が大変」と聞きました。初めて保護者と離れる子ども達は特に泣いてしまう子が多いと聞き、不安もありました。

4月。やはり毎日大苦戦でした。部屋に行きたくないと言って入らない子がいたり、ふらふらと勝手にどこかへ行ってしまう子がいたり、「ママ〜!!」と泣く子がたくさん。うまくまとめることができず、子ども

普段の保育に子ども達の興味のある物を取り入れていこうと考えていきました。制作・歌・集団遊び・劇遊び・クラスのコーナー遊びなど、自分一人を考えていかなければならないことが初めてで、本当にわからないことばかりでしたが、ベテラン、先輩の先生方からアドバイスをいただいたり、手伝ってもらったりし、なんとかやってきました。すると少しずつですが、子ども達が変わってきたように思えたのです。そして、私にも徐々に余裕が生まれました。現在、4月では考えられないほど子ども達は成長したように感じます。もうすぐ進級するぞという意識も持ち始めたようです。嬉しき反面、ちよっぴり寂しさも感じる今日この頃。残りの時間を子ども達と毎日笑顔で楽しく過ごしていきたいと思っています。



保育の窓 コミュニティ

3年目を迎えて

上野幼稚園 芝田 沙織

『どんな仕事も3年は続けなさい。』短大時代、耳にタコが出来る程聞かされた言葉である。憧れの幼稚園教諭となり、早いもので3年が経とうとしている。なぜ3年なのだろうか。3年経つと、何が見えるのだろうか。その答えは今はまだ分かりそうもないので、働き始めてから今までの私を振り返ってみる。

1年目、ただひたすら先輩の先生について行こうと必死であった。当然、先輩の先生のように余裕を持ち、先を見通した保育等出来るはずもないのだが、思い描いていた幼稚園教諭という仕事の理想と現実には戸惑う事もあった。しかし、何もかもが新鮮で、一つひとつが全て新たな学びとなっていた。

2年目、初めてクラスを持つことになり、子ども達が自分の未熟な保育で楽しんでくれているだろうかと不安に感じる事もあった。また、保護者の方との関係に悩むこともあった。先輩の先生に相談したりアドバイスを頂いたりしながら試行錯誤を繰り返す日々。時には失敗する事もあるが、その頃から何事も自分の今出来る百パーセントの力で臨む事を意識するようになってきた。自分自身が百パーセントの力で臨む中で起きた失



敗は、後悔ではなく学びとして自分の中に残ると考えるようになったからだ。そのように意識しながら保育を行う事で、自分の中で少しずつ余裕が生まれてきた。

さて、ついに3年目。まだ年度が終わっていないので、今受け持っている年長さんが卒園したら3年目を終えることになる。しかし、今の時点で既に保育の奥深さと子どもの魅力、そして何よりこの仕事におけるやりがいや十分に感じている自分がある。まだ3年は経っていないものの、何となく答えが見つかったような気がする。

今までの自分を振り返ってみると、様々な事を経験している中で、保育の難しさはもちろんだが、何よりも楽しさを感じられるようになった。子ども達と共に過ごす日々の中で、彼らの成長を一番近くで感じる事も出来た。毎日の保育活動や様々な行事等、ち密な計画に基づいて準備をし、環境を整える。すると、こちらが提供した分よりも子ども達はたくさん事を返してくれる。子ども達のパワーに驚かされたり、何度も感動させてもらったりした。毎日がキラキラしていて、一緒にいるとわくわくする。本当に素晴らしい職業であると改めて気付く。私なりに答えは見つかった。3年とは言わず、これからも幼稚園教諭を続けていきたいと思う。

大切に思うこと

気賀幼稚園 増田 裕美

幼稚園教諭となり早14年、昨年は自分にとっても転機がありました。出産を経験し母となった事です。そして初めての長いお休み、産休を頂き、その後仕事復帰をしました。

そんな中、改めて気付かされた事がありました。それは自分自身がこの職業を大好きだという事です。この14年、振り返り立ち止まってゆっくり考える余裕も無く、日々一生懸命であつたという間に月日が経っていました。しかし、お休みを頂いている間、子育てに奮闘しながらも、ふと幼稚園の事が気になり、またあの活気ある楽しい職場に戻りたいと思うようになりまし



せだなと感じます。

職場に復帰した初日、幼稚園で子ども達を待っていると、昨年担任していたクラスの子とも達が、「先生おかえり」と声を掛けてくれ、成長した自分を見てと言わんばかりに、ひとつ学年が上がったクラスバッチを誇らしげに見せてくれました。子ども達にとって先生は、大好きで安心できる存在。これからも子ども達と共に成長し、そんな存在でいられるよう自分の心と身体を健康に保ち、努力していこうと思えます。

そして、改めて気付いた事がもう一つ。それは「感謝の気持ち」を忘れてはいけないという事です。仕事と子育ての両立は思っていた以上に大変でした。

しかし、色々な方々のサポートがあり、今こうして働く事が出来ています。忙しくて心が折れそうになった時、こうして働ける事を当たり前と思わず、支えてくれている家族や職場の皆様へ感謝し、これからも頑張っていきたいと思えます。



子どもの成長への戸惑いをユーモラスに描いた人気シリーズ♪

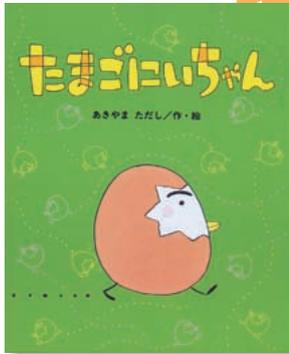
たまごにいちちゃん

あきやまただし **作絵**

27×22cm 各28頁

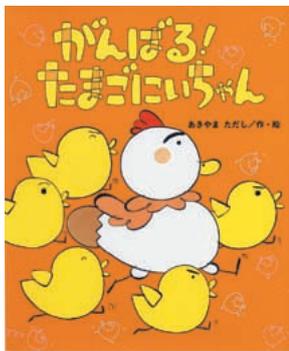
各巻定価¥1,260(本体¥1,200)

シリーズ



*記念すべきたまごにいちちゃんデビュー作

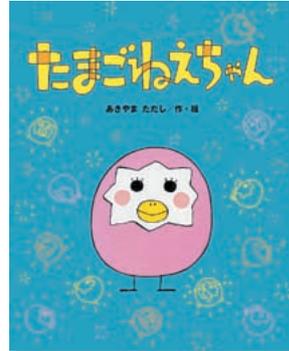
「大きくなるって、ちょっぴりこわい。」そんな子ども達の心を、なかなかたまごのカラを出たがらないたまごにいちちゃんやたまごねえちゃんに託して、シリーズ化された絵本です。それでも、彼らは最後には見事にカラを破って巣立っていきます。ほんとうは成長していくってステキなことだよと、子どもたちにエールを贈っているのです。



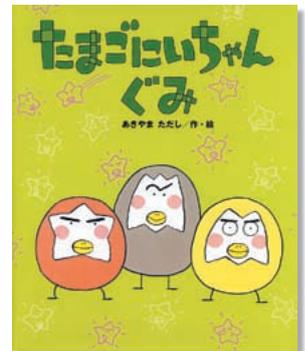
*カラを破ったたまごにいちちゃんの成長の日々



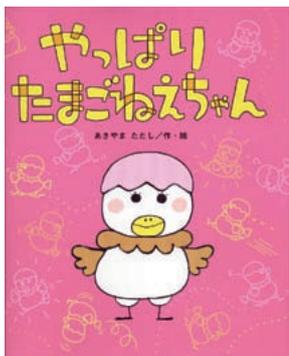
*たまごにいちちゃんの謎が今、解き明かされる!



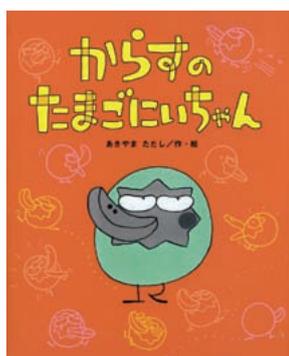
*わがママたまごねえちゃんと優しいパパのおはなし



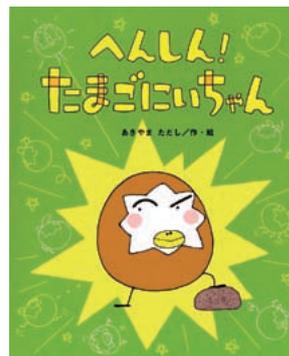
*伝説のたまごにいちちゃんに憧れるなかよし3人組



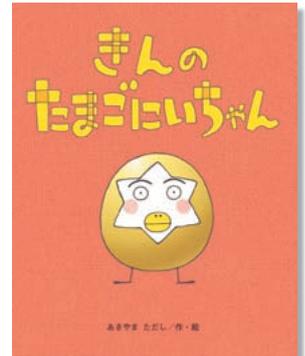
*あまえんぼうのたまごねえちゃん、妹のための奮闘記



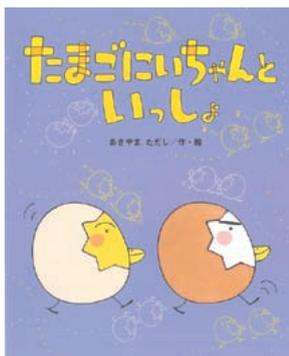
*いじわるからすがまたたまごの中だった頃...



*たまごにいちちゃんは、たまごの中で驚異的に進化中!



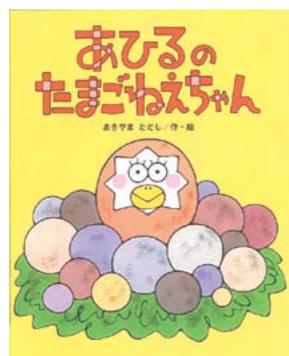
*金色の殻のスペシャルなたまごにいちちゃんは...



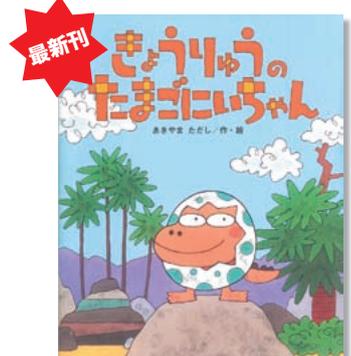
*とっても快適! 弟と一緒にたまご生活!



*ペンギンのたまごにいちちゃんはおかさんが大好き!



*あひるのたまごねえちゃんは丸いものがお気に入り♪



*きょうりゅうのたまごにいちちゃんはちょっとお調子者で...

人は城 人は石垣 人は堀

静岡学園幼稚園父母の会会長

鈴木 竜司

「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方仇は敵なり」

これは、かの有名な戦国武将である武田信玄の戦略や戦術を記した軍学書『甲陽軍鑑』にある言葉です。意味としては、信頼できる人の集まりは、堅城に匹敵し、情けが人を繋ぎとめ、おのずと国を栄えさせるが、仇を増やせば国は滅びてしまふ、といったところです。

戦国最強軍団と呼ばれていた信玄率いる武田軍ですが、不思議なことに巨大な城は築かずに、躑躅ヶ崎館という先代が築いた小さな館を拠点としていました。そんな信玄の姿があるからこそ、この言葉にはとても重みがあると思います。

では、どうしたら裏切る事など当たり前の戦国時代の真ただ中に生きる信玄が、人から多くの信頼を得ることができたのでしょうか。まず信玄は積極的



に信頼してほしいなら、自分から先に相手を信じなければならぬ、といった考えからだそうであり、時には頭を下げ、人を信じようと心掛けた結果、戦国最強の武田軍団が誕生したわけだ。

これは、現代の集団生活や会社内、家庭内における人間関係においても必要なことではないでしょうか。先生が生徒を信じる、社長が社員を信じる、親が子を信じる、親が先生を信じる、そうした信頼関係が構築できれば、きつとお互いが温かい気持ちや思いやりの心が生じて、昨今世間を賑

やかせている、いろいろな問題も減ってくるのではないかと思います。

現代はメールに携帯メールでやり取りしている人達の姿をよく見ますが、メールの文章だけでは、その人の心の温かさまでは分からないような気がします。今一度原点に立ち

返り、信玄の如くいろいろな人と話をし、より良い信頼関係を構築することを心掛けては、と思います。そして誰にも負けない立派な城を築きましょう。

PTA会長活動を振り返るにあたり

するが幼稚園後援会会長

井出 裕介

平成20年4月、現在小学2年生の長女が入園をしたのを機に、現在まで後援会長を務めております。地元で30年以上お嬢子を行って、普段から小中学生の指導を手掛けている関係上、自然と子ども達と触れ合う機会があります。もともと子どもと触れ合うことが好きなんですね。一方で、幼稚園児との関わりとなると今までなかなか



な元気に声を掛けてくれます。そして各行事では元気よく、力一杯活動している園児の姿が大変微笑ましいです。また我が子においても私が行事の度に出てお話をする機会を頂いているので大変喜んでくれています。

本年は会長職の5年目であり、同時に富士地区私立幼稚園PTA連合会の会長も仰せつかり私を含め富士市17園の会長達と活動を共にしております。この繋がりも楽しく、特色のある会長会活動が展開されています。本年、会長として会を取り仕切らせて頂いていますが、会長同士の情報交換の場として有意義になるよう努めています。

私は本年1月より

社団法人富士青年会議所の理事長に就任し、将来の地域を担っていく青少年の健全育成活動にも力を入れていきます。「子どもの目の高さ」を常に心掛け、子ども達が安全・安心に外で遊べる社会を創るべく活動に邁進しているところでございます。青空広がる未来を目指し、我々大人がスクラムを組み、子ども達の心身の育成を支えていく、そのような社会構築を是非作っていきたくと改めて決意しております。

はじめは私が保護者の代表という事にピンと来ない面もありましたが、園長先生と密にコミュニケーションを取らせて頂く中で、園の事についてや幼児期の教育のあり方や重要性を認識させて頂くようになってきました。また、保護者の皆様とも積極的にコミュニケーションを図り、普段の園生活や気づいた事や園への要望などを聞き、それらを保護者の代表として園長先生にお伝えさせて頂きました。園においても様々な園児と触れ合いさせて頂き、私が来ると興味津々の様でみん

第5回「街ぶらり」は、心の癒しをテーマに静岡市の日本平周辺を散策しました。

◆旧エンバースン住宅

カナダからキリスト教伝道のため来日したエンバースン師の自邸として建てられ、暖炉など明治時代の質素で落ち着いた雰囲気味わえます。



◆日本平動物園

手の届きそうな距離で、愛らしいレッサーパンダが様々な角度から見られ、昨年オープンした「レッサーパンダ館」は早くも人気を集めています。猛獣館では、プールへダイブするホツキョクグマ（ロッシー君）を真近に見



られ、大人気となっており、多額の費用をかけて、大人でもワクワクするような施設の整備が進

み、今年4月にグラウンドオープンの予定です。夜だからこそ見られる肉食獣などの迫力ある姿を見られる「ナイトズー」も実施するそうですよ。



◆日本平ホテル

「風景美術館」として楽しんでもらいたいと、昨年9月にリニューアルオープンしました。

2万坪の敷地の中に、雄大な富士山や清水の街と港、駿河湾の眺望を引き立てる、自然の石や水を配した庭が印象的です。

天然木をふんだんに使ったセレモニーホール（チャペルと神殿）では富士山が真正面に見られ、刻一刻と変わる風景が楽しめます。



テラスランチはお手頃価格ですが、小さなケーキのバイキングもあり、予約が必要ですが、女性客で一杯でした。

◆東海大学海洋科学博物館

日本平から、サッカーJ1の清水エスパルスの本拠地「日本平スタジアム」を眺めながら清水区三保へ向かいました。

入館すると、高さ6mの海洋水槽があり、見る位置によってサンゴの海、海草の海、岩礁の海などの海中景観が楽しめます。

また、クラゲギャラリーで、ゆつたりと動くクラゲに癒されます。



同博物館の敷地に隣接して「ハーバルキャンプ場」があります。

清水の海と三保の松原に囲まれ、富士山も望めるキャンプ場で、雨でも大丈夫な炊事施設や芝生ひろば、キャンプファイヤーサークルなどファミリーから各種イベントまで、三保の自然を満喫できます。

お昼は日本平ホテルのテラスランチにしましたが、ケーキを食べたせいかお腹一杯でした。



歯並びの話

サイトウ歯科

院長 齋藤 滋子



⑤ 開口



① 正常咬合



⑥ 交叉咬合



② 叢生



⑦ 過蓋咬合



③ 上顎前突



⑧ 位置異常



④ 反対咬合



⑨ 第2大臼歯の交叉



今回はむし歯の次に相談事の多い歯並びについて話してみよう。
個人差はありますが、生後6ヶ月頃から下顎の前歯が生えてきます。その前歯がねじれていたり、重なっていたりと、きれいに並ばないことが多いです。親たちをやきもきさせることになり、また咬合が不安定で、しかも本人がジツとしている事は難しいので、よほどの異常がなければ、1歳6ヶ月検診まで経過観察します。

1歳6ヶ月検診の頃は、ちょうど離乳が完了する時期ですが、まだ奥歯が生えそろっていないので、舌や顎の癖で、反対咬合や左右のずれが現れる事があります。奥歯が生えるにつれて咬合が安定し、自然に治ることもありますが、癖が不正咬合を導いてしまうこともありますので注意は必要です。また、指しゃぶりやおしゃぶりの影響で、上の前歯がとびだしてきたり、下の前歯が内側に入ってきたりする不正も少しずつ現れてくる場合があります。どちらともやめさせるのは大変ですが、おしゃぶりは2歳になる頃にはやめさせるように努力することをお勧めします。指しゃぶりは4歳頃までにやめれば、顎の骨への影響は少ないといわれています。

3歳の頃になると第二乳臼歯も生え、乳歯の咬合がほぼ完成します。顎や顔の骨も成長しますので、歯と歯の間に空隙ができることもあります。逆に歯が重なり合っていたり(叢生)、下顎前歯が外に出る(反対咬合)や、指しゃぶり等で上の前歯が極端に外に出る(上顎前突)や咬んだ時上下の前歯が離れる(開口)などがはつきり現れているようであれば注意が必要です。あわてることはありませんが、最近では、永久歯がうまく生え変わるよう、乳歯列の時期に早期の矯正的処置を施して顎の骨の発育を促すという考えの治療もありますので、経過

観察で心配な方は歯科医に相談されるといいでしょう。

4〜5歳の頃は乳歯列が安定し、奥歯で何でもかめる時期です。歯並びが原因のことがありますが、かみ癖等で部分的に歯が磨耗し、左右のずれが生じた状態でかむ不正、(交叉咬合)があらわれることがあります。一見きれいな歯並びにみえても、かみ合わせると上下の中心がずれるというものです。顔の発育や永久歯にも影響することがありますので、はやめの歯科受診をお勧めします。家庭では食事時の姿勢やかみ癖、座り方等にも注意する必要があります。

6歳前後には前歯が生え変わった後、第二乳臼歯の後に第一大臼歯が生えてきたりと変化がはじまります。乳歯がグラグラして抜けずに、永久歯が内側などにはえてしまうような場合は、歯科受診をお勧めします。

小学生から中学生にかけて永久歯に生え変わっていく間に不正な箇所が自然に正常になることもあります。異常がはつきりとしてくる場合は矯正の対象となります。正常咬合と言われている状態

の写真と代表的な不正咬合の写真を紹介いたします。参考にしてください。



そこ!そこ!そのひもをつまんでごらん



アルプス1万尺♪あれっ?一緒になっちゃった!



よ〜し!
ラストパートだ〜!!



ゆきだ!ゆきだ!おちばのゆきだー♪



う〜ん!
つきたてのおもちはおいしい!!



はやくつれないかなあ



トンネルの中から「こんにちわ」



スーパーカーはかっこいいね!!



みて〜!!じぶんたちだけでつくったよ!



おには〜そと!!おなかのなかからでてきたぞ!

【編集後記】

今年度最後の静私幼だよりになりましたので、編集を担当している広報委員のメンバーを紹介します。委員長は座光寺先生は強面なのに、取材に行くとき一番興奮し、なんにでも無邪気に反応して面白がっている。後藤先生は柔らかい大人の雰囲気、広報の知恵袋。相原先生は母のようにみんなのことを見守る。佐藤先生は細やかなチェックを入れる。石川先生はみんなとは違った目線のアイデアを出す。イケメン足立先生はスマートな発言とIT担当。梶山先生は

スニーカーでアクティブに取材する。山田先生は宴会部長で盛り上げ上手。小関先生はまじめにコツコツ粘り強い。そして、異端の飛び道具である私。と個性派ぞろいです。このスタッフで「皆さんが少しでも心を動かす内容のものを」と毎回考えて編集しています。皆様も良いアイデアがありましたら、広報委員までお知らせください。最後まで読んでいただきありがとうございます。

追分幼稚園 田村都弥

(表紙写真 / 横内幼稚園)

